

>>> 与謝野町の財政状況

令和4年度決算では、「地方公共団体の財政健全化に関する法律」に定められた指標の一つである実質公債費比率が全国ワースト2となっており、令和5年度は17.2%と高い数値ですが、ほかの指標も含めて法律に定められた基準は下回っており、財政の破綻が起こるような状況ではありません。

実質公債費比率は、収入に対する1年間で支払った借入金返済額などの割合で、数値が高いほど借入金返済の資金繰りが厳しいことを表しますが、町債の借入

額より返済額が多い状況が続いていますので、町の実質公債費比率は令和5年度にピークを迎え、今後、緩やかに減少していく見込みです。

しかし、人口減少・少子高齢化が進み、歳入が減少し歳出が増加して財政がますます硬直化すると、新たな政策に使える財源の確保が困難になる可能性もあります。そのため、必要な事業を進める中でも、持続可能なまちづくりに必要不可欠な財政健全化の取り組みを引き続き進めてまいります。

令和4年度 決算報告

令和4年度決算が9月定例会で全会計とも承認されました。普通会計の令和5年度への繰越財源分を差し引いた純繰越額（実質収支）は、財政調整基金（まちの貯金）を取り崩すことなく5,287万円の黒字となりました。今月号では令和4年度の決算を7つの視点からお知らせします。なお、前年度の比較など詳しい情報は、町ホームページに掲載しています。



町ホームページ

※ 普通会計…一般会計に宅地造成特別会計と土地取得特別会計を加えたもの

☎ 企画財政課 ☎ 43-9015

2 普通会計 歳出

将来負担に備え「公共施設建設整備基金」に積み立て

歳出総額は121億3,096万円となり、前年度と比較して9億7,976万円（▲7.5%）減少しました。投資的経費は、学童保育施設整備事業や河川改修事業、農地等保全対策事業などを実施しましたが、認定こども園施設整備事業が大幅に減ったため、7億959万円（▲51.8%）の減額となりました。

令和4年度は公共施設建設整備基金に8,146万円を積み立て、将来負担に備えることができました。今後も持続可能な行財政経営のために、事務事業評価をはじめとする行政改革を進めることや、公共施設の長寿命化や集約化などの合理化を図るとともに、与謝野町財政計画にもとづき、地方債の発行抑制や歳出抑制を行います。



- 人件費 … 職員給与、議員報酬、会計年度任用職員報酬、共済費など
- 公債費 … 町債（まちの借金）の元金償還費
- 扶助費 … 児童手当、障害者自立支援給付金、老人ホーム入所措置費など
- 補助費等 … 国庫補助金等交付金、国庫補助金等交付金、国庫補助金等交付金
- 繰越金 … 公共施設建設整備基金、財政調整基金、繰越金
- 物件費 … 旅費、印刷費、雑費など
- 投資的経費 … 学童保育施設整備事業、河川改修事業などの建設費など
- その他 … 貸付金、基金への積立金、維持補修費



- 町税 … 町民の皆さんがまちに納められた税金。町民税、固定資産税、軽自動車税など
- 繰入金 … 繰入金のほか、繰越金、使用料・手数料、寄附金、分担金・負担金など
- 地方交付税 … この補助金でも一定の行政サービスが行えるように、国から交付されるお金
- 地方債 … 財政負担の平準化や世代間の負担の公平性を図るため、国などから借りたお金
- 国庫支出金 … まちが行う事業に対し、国から交付されるお金
- 府支出金 … まちが行う事業に対し、京都府から交付されるお金
- その他 … 地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、法人事業税交付金など

1 普通会計 歳入

依存財源の割合が高い

歳入総額は122億1,352万円となり、前年度と比較して12億2,003万円（▲9.1%）減少しました。町税は、新型コロナウイルス感染症の影響が回復の兆しを見せ、町税全体では7,222万円増加しましたが、歳入全体で見ると、地方交付税の割合が47.9%となるなど、国や京都府からの交付金や町債（まちの借金）などの、依存財源の割合が76%と高い状況にあります。依存財源の中でも町債は、こども園施設整備事業債を大幅に減額するなど、7億7,747万円（▲59.5%）の減額となりました。なお、令和4年度の町債発行額は、5億2,992万円で、合併後最も少額となっています。

新型コロナ対策経費

- 7億2,527万円（令和3年度からの繰り越しを含む）を支出しました。
- 感染防止対策 310万円
- 住民生活維持支援 1億2,422万円
- 子育て・学習環境構築 1億6,199万円
- 事業継続支援 7億3,388万円
- 生活者支援 2億2,835万円
- 事業者支援 1億7,639万円
- その他対策関連事業 1億2,542万円

魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち

- 文化財保護事業 491.5万円
- 高校魅力化推進事業 833.3万円
- 美しく住みやすい 安心安全なまち
 - 広域ごみ処理運営事業 1億9,381万円
 - 常備消防組合負担金 3億9,804万円
 - 道路新設改良事業 1億1,479万円
 - 河川改修事業 1億3,725万円
- 住民が主人公となるまち
 - 地域協働推進事業 1億1,066万円
 - 自治組織支援事業 1億7,344万円

つながりで笑顔を 未来につむぐまち

- 病児保育所管理運営事業 343.3万円
- 子育て世代包括支援センター事業 276.1万円
- キッズステーション事業 210.0万円
- 小規模保育事業 236.9万円

みんなが自分らしく 幸せに生きるまち

- 介護人材育成・確保支援事業 84.0万円
- 生活困窮者等支援事業 111.1万円
- 観光地域づくり支援事業 213.2万円
- 移住定住支援事業 140.7万円

令和4年度の主な事業

第2次与謝野町総合計画で掲げた7つの分野別方針に基づき取り組んだ事業を紹介します。

- 農地保全推進事業 1億2,165万円
- 織物振興対策事業 2億1,077万円

地元を誇りに想い、人の流れを生むまち

- 一人ひとりが個性を生かして安心して働けるまち